

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
 定めた日
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
 (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
 (よくあるご質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
 公告方法 当社ホームページに掲載する
<https://www.daidoh-limited.com/>
 ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う
 上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場
 名古屋証券取引所プレミアム市場

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会
 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

■ 特別口座について
 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。
 特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

DAIDOH
 FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

経理財務部
 〒101-8619
 東京都千代田区外神田三丁目1番16号
 TEL.03-3257-5022 FAX.03-3257-5051

NEWYORKER

Atraer

SIPULI

along with natural beauty

MILLION
 CLUB



Brooks Brothers

PONTETORTO

Dynacity



皆様へ

第101期中間(第2四半期)報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

DAIDOH
 FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<https://www.daidoh-limited.com/>



代表取締役社長執行役員 鍋割 宰

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、経済正常化に伴う個人消費の伸びやインバウンド消費の拡大がみられるなか各事業の効率化に取り組み、前期に比べて損失を減少させることができました。

当社グループは「お客様第一」「品質本位」の経営理念のもと、中長期の視点で利益を生み出せる企業グループへの進化に取り組んでおります。

事業環境は依然として先行き不透明な状況ではありますが、引き続きグループ一丸となって改革と改善を実行することで一層の業績の改善に尽力し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業環境の変化に対応し、中長期の視点で利益を生み出せる企業グループを目指してまいります。

当期の営業の概況

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行など経済活動の正常化が着実に進み、個人消費を中心に緩やかな回復基調がみられました。一方で、不安定な国際情勢に伴う世界的な資源価格の高騰や円安方向への為替変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

衣料品業界におきましては、経済活動の正常化に伴う人流の増加や円安を背景としたインバウンド需要の増加などにより、徐々に需要の回復がみられました。

衣料事業においては、製造部門では出荷量が増え、小売部門では個人消費の緩やかな回復を受け売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

不動産賃貸事業においては、前連結会計年度において賃貸用不動産の組み替えを行なうことを目的として本社ビルを売却したことによる売上の減少がありましたが、新たな賃貸用不動産の取得や商業施設の来館客数増加などにより、売上高が前年同四半期比で増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,981百万円(前年同四半期比8.4%増)、営業損失は370百万円(前年同四半期は営業損失850百万

円)、経常損失は224百万円(前年同四半期は経常損失577百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は390百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失696百万円)となりました。

中長期的な取り組み

業績の回復に向けた主な取り組みとして、小売事業新生・海外事業拡大・不動産賃貸事業効率化に注力しております。

衣料事業の国内小売部門では、原材料価格の高騰や資源価格の上昇による輸送コストの増加に加え円安などの外的要因により商品の仕入コストが上昇しておりますが、「ニューヨーカー」と「ブルックス ブラザーズ」を事業の柱として、より良い品質の商品およびサービスを提供し、デジタル技術の活用により仕入の適正化を図り、在庫効率の改善、値引販売の抑制や商品の廃棄処分点数の削減などに取り組んでおり、これらの効果が徐々に表れております。

「ニューヨーカー」は、オンラインストアと実店舗を融合したサービスにより、オンラインストアの利便性と接客による安心感の提供や、ビジネスウェアなどのパターンオーダーの受注拡大に取り組んでおります。

「ブルックス ブラザーズ」は、他ブランドとのコラボレーション

商品も展開し、また歴史的な名品を蘇らせた「アーカイブコレクション」の発売とともに、期間限定で表参道店にて古着の販売を行い、長くご愛用いただけるブランドとして顧客基盤の拡大に取り組んでおります。

海外事業では、中国をはじめとするアジア地域を売上拡大の余地がある市場ととらえ、小売事業の拡大やOEM商品の供給拡大に取り組んでまいります。

また、イタリアでファッションウェアとスポーツウェア向けの素材を製造するポンテルトは、環境に配慮した素材への需要の高まりのなかで同社が開発したりサイクル素材や生分解素材が高い評価を得ております。独自の技術を活かした機能性の向上に加え、環境に配慮した新しい素材の開発を進め、新たな顧客を開拓しております。

不動産賃貸事業では、小田原の商業施設「ダイナシティ」にて、新館「ダイナシティ ウェスト アネックス」の開業を2024年春に予定しております。今後も地域との共生を意識しながら魅力のある施設づくりを目指してまいります。オフィス賃貸では、賃貸用不動産の組み替えを目的として老朽化が進んでいた本社ビルを2023年3月に売却し、新たな賃貸用不動産の取得を進めております。今後も保有資産を有効に活用し、事業の安定化を図ってまいります。

Topics
1

ブルックス ブラザーズ、歴史的な名品が現代によみがえる「アーカイブコレクション」が好評



ブルックス ブラザーズでは、今秋、ブランドの長い歴史の中で生み出されてきた数々の名品を蘇らせた「アーカイブコレクション」を発売いたしました。当時のデザインやディテールを踏襲しながらも、現代の技術やエッセンスを加えた、3つボタン段返りのネイビーブレザーやオックスフォード生地のボタンダウンシャツは、顧客の方を始め、新規のお客様からも大変好評をいただいております。

カシミア混フランネル生地の3つボタン段返りネイビーブレザー



オックスフォード生地のボタンダウン(ポロカラー)シャツ



期間限定ポップアップショップの開催

本コレクションの発売を記念し、2023年9月27日から10月10日までの期間、人気古着店「SAFARI(サファリ)」とのコラボレーションによる、ブルックス ブラザーズのヴィンテージアイテムが一堂に会する期間限定のポップアップショップ「アーカイブアンドヴィンテージ」をブルックス ブラザーズ 表参道にて開催いたしました。



Topics
2

ダイナシティ、新館「ダイナシティ ウエスト アネックス」2024年春開業(予定)に向けて着工



「ダイナシティ
ウエスト
アネックス」
完成予想イメージ



「ダイナシティ ウエスト アネックス」 NEW OPEN告知ロゴ

ダイナシティでこれから起こる“進化”と“変化”、そしてお客様との未来(これから)など様々な想いを、イラストアートで表現。



ダイドーフォワードが運営するショッピングセンター「ダイナシティ」(神奈川県・小田原市)では、2023年6月に、新館「ダイナシティ ウエスト アネックス」の新設工事をスタートしました。約20年ぶりの大規模開発となる新館の開業は、2024年春を予定しております。

ダイナシティは、「イースト」、「ウエスト」、「ウオーク」の3つのゾーンで構成される神奈川西部エリア最大のショッピングセンターとして、「生活の真ん中に笑顔がある」をキャッチフレーズに、地域との共生を意識しながら魅力のある施設づくりを目指してまいります。

館内の様子 ▶

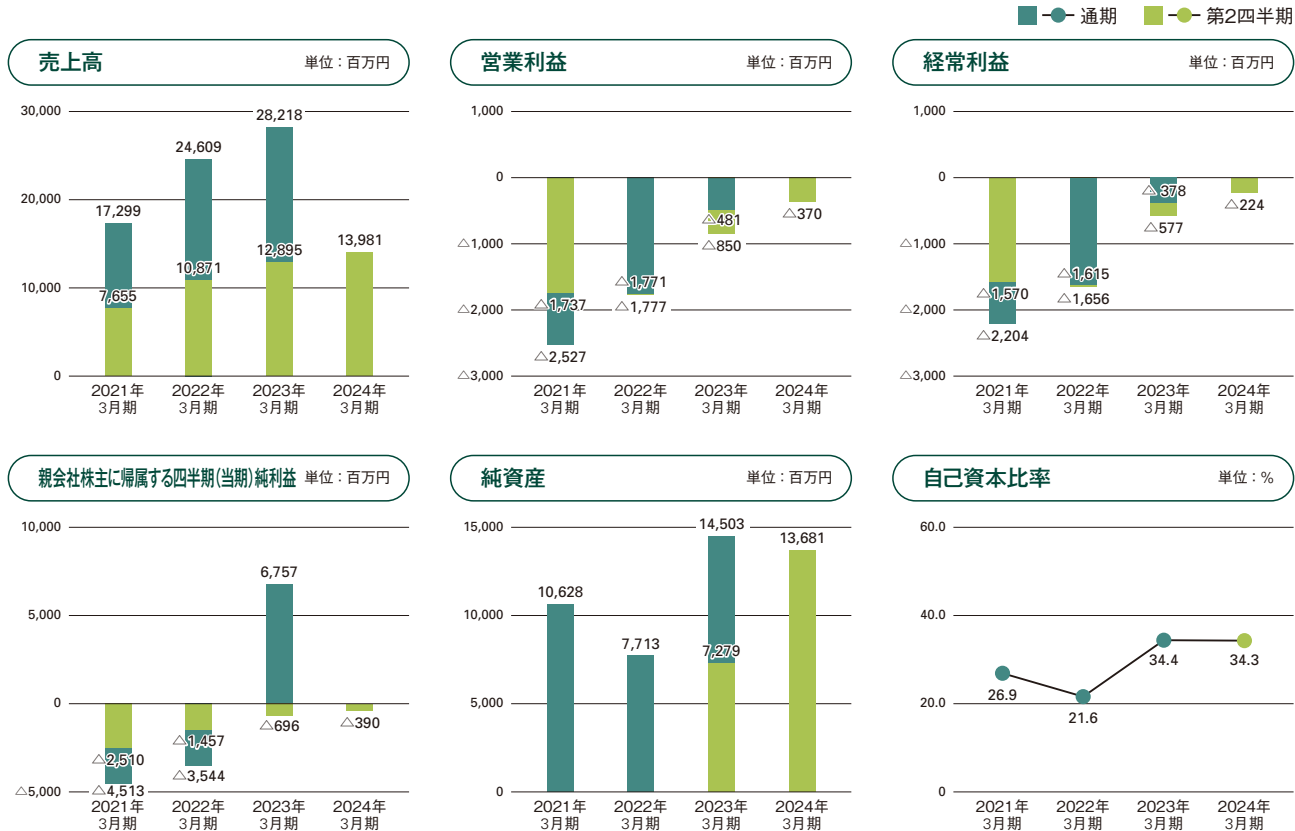




業績・財務ハイライト

(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
売上高	10,871	24,609	12,895	28,218	13,981
営業利益	△ 1,777	△ 1,771	△ 850	△ 481	△ 370
経常利益	△ 1,656	△ 1,615	△ 577	△ 378	△ 224
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△ 1,457	△ 3,544	△ 696	6,757	△ 390
純資産	8,769	7,713	7,279	14,503	13,681
自己資本比率(%)	24.0	21.6	20.1	34.4	34.3



会社情報 / 株式関連情報

(特に記載のない限り2023年9月30日現在の状況です。)

会社概要

株式会社 **ダイドーリミテッド**
DAIDOH LIMITED
 創業 1879年(明治12年)1月
 設立 1949年(昭和24年)10月17日
 資本金 6,891,851,938円

取締役および監査役

代表取締役社長執行役員	鍋 割 宰
取締役上席執行役員	渡 部 克 男
取締役執行役員	白子田 圭 一
取締役執行役員	萩 原 秀 敏
社外取締役	西 岡 和 行
社外取締役	成 田 健 介
監査役(常勤)	戸 澤 かない
監査役(弁護士)	武 田 昌 邦
監査役	城 戸 真 亜 子

(注) 取締役 西岡和行、成田健介の両氏は、社外取締役であります。
 監査役 武田昌邦、城戸真亜子の両氏は、社外監査役であります。

主要な事業所

本 社 東京都千代田区
 外神田三丁目1番16号

従業員の状況

株式会社ダイドーリミテッド 35名
 企業集団の合計 756名

主な借入先

借入先	借入金残高
株式会社みずほ銀行	3,868百万円
三井住友信託銀行株式会社	2,400百万円
株式会社三井住友銀行	2,050百万円
株式会社横浜銀行	400百万円

株式の状況

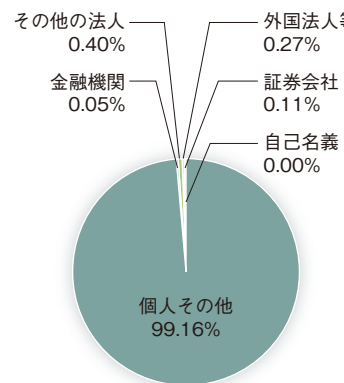
発行可能株式総数 150,000,000株
 発行済株式の総数(自己株式を含む) 35,696,897株
 株主数 24,626名
 (前期末 26,537名)

大株主

株主名	所有株式数(百株)
INTERTRUST TRUSTEES (CAYMAN) LIMITED SOLELY IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF JAPAN-UP	57,980
株式会社ソトー	15,950
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,698
三井住友海上火災保険株式会社	6,464
三井住友信託銀行株式会社	6,420
株式会社みずほ銀行	6,283
明治安田生命保険相互会社	4,655
日本毛織株式会社	3,500

(注) 当社所有の自己株式(8,820,814株)は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布

